

## 地球環境シンポジウム・一般公開シンポジウム

### 「土木分野における適応に向けた気候変動研究の将来展望」開催

#### 1. 本シンポジウムのスコープ

温暖化影響評価研究に直接加わっていない大学・研究所の土木系研究者を対象に、温暖化影響評価研究について、これまでの研究プログラムの紹介、研究手法やターゲットについて事例を交えながら講演を行う予定です。特に、『現在までの成果と問題点、これからの展望』を明確にし、新たな研究者の関心を引くことを主眼においたシンポジウムです。

#### 2. 開催場所等

- A) 日時 9月4日（13：30～17：00）
- B) 場所 中央大学駿河台記念館（東京都千代田区神田駿河台 3-11-5）
- C) 開催形態 RECCA/S-8/創生 D 共同開催

#### 3. 具体的な内容（13：30～17：00）

- A) IPCC-AR5・これまでの温暖化研究プログラムの紹介（30分）
  - i. IPCC-AR5・これまでの温暖化研究プログラムの紹介 鬼頭昭雄（筑波大学）
- B) 温暖化影響評価研究の紹介（話題の中でターゲット・手法を取り混ぜながら）
  - i. 水資源・農業・環境に関する影響評価研究（60分）
    - 革新から創生までの影響評価研究および水資源・生態系影響評価 中北英一（京都大学）
    - 我が国の農業における温暖化影響評価研究の現状と課題 石郷岡康史（農業環境技術研究所）
    - 都市気象学の気候変動適応研究への応用：現状と課題 神田 学（東京工業大学）
  - ii. 自然災害に関する影響評価研究（60分）
    - 気候変動適応に向けた水害ハザード・リスク評価研究の現状と展開 大楽浩司（防災科学技術研究所）
    - 水災害の被害額と適応費用推定と複合災害の評価 風間 聡（東北大学）
    - 台風災害の影響評価の現状と課題 森 信人（京都大学）
  - iii. 温暖化予測データ・提供機関・IPCC との関係（30分）
    - 温暖化予測データ・IPCC との関係 高橋 潔（国立環境研究所）
    - 温暖化予測データと DIAS について 小池俊雄（東京大学）
- C) ディスカッション（30分）

以上